「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの
検討に向けたニーズ調査にご協力ください
（就学前児童家庭用）

区では、多様化する子育てサービスのニーズに応えるため、令和２年３月に「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画（令和２年度～６年度）」を策定し、施策を展開しています。

この調査は、子育て中の区民の皆様に、教育・保育サービスの利用意向などを伺い、計画の中間見直しを検討するために実施するものです。

設問が多く大変恐縮ですが、練馬区を、安心して子どもを産み楽しく子育てができるまちとするために必要な調査ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

令和３年 11 月
練馬区

【ご記入に当たってのお願い】

■本調査のため、10 月 1 日時点の住民基本台帳から、3,000 人を無作為に選ばせていただきました。この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
■調査票に記載の各事業については、別冊「練馬区の子育て支援制度の紹介」をご参照ください。
■特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者のみお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
■回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと、枠内に記入（入力）するものがあります。また、設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿ってお答えください。
■回答方法について、詳しくは裏面をご参照ください。

回答期限　　11月15日（月）まで

お問い合わせ先

【調査の趣旨】
練馬区　教育委員会事務局　こども家庭部　こども施策企画課　こども施策担当係
電話：03-5984-1306
メールアドレス：KODOMOSISAKU@city.nerima.tokyo.jp
受付時間（電話）：月曜日～金曜日（平日）8時 30 分～17 時 15 分

【調査内容・回答方法：調査委託先】
株式会社 日本能率協会総合研究所
電話：0120-550-156（フリーダイヤル）
受付時間：月曜日～金曜日（平日）10 時～12 時、13 時～17 時

本調査への回答方法

以下のいずれかの方法によりご回答ください。
1．　郵送による回答方法（送付した調査票に直接記入）
2．　インターネット（パソコン、スマートフォンなど）による回答方法

1．郵送による回答方法

①調査票に直接回答を書き込んでください。

②回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、締切日までに郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

2．インターネットによる回答方法



①パソコン、スマートフォンなどで、次のＵＲＬを入力するか、二次元コードを読み込み、アクセスしてください。

●サイトＵＲＬ	●二次元コード
https://nerima-kodomo-kosodate.com/	

②次の「利用者ＩＤ」と「パスワード」を入力してください。この利用者ＩＤとパスワードは、回答内容を識別するものであり、個人を特定するものではありません。
※利用者ＩＤ、パスワードはすべて半角で入力してください。

利用者ＩＤ【　　】パスワード【　　】

③画面の指示をお読みいただきながら、ご回答ください。
最後まで入力が完了しましたら、ボタン【確認画面へ】をクリックしてください。
確認画面へ移動後、入力した情報を確認し、問題なければ【送信する】をクリックしてください。入力した情報を修正したい場合は、【修正する】をクリックすると、入力画面に戻ります。
【送信する】をクリック後、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば、終了になります。

④注意事項
入力画面上部にあるボタン【入力内容を一時的に保存する】をクリックすると、入力内容を一時的に保存することができます。再度同じ利用者ＩＤでログインすれば、入力を再開することができます。
ログイン後、何も動かさないまま 30 分すると自動的にログアウトされます。その際、入力内容は消失してしまいます。

「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの検討に向けたニーズ調査

■すべての方に、お住まいの地域についてうかがいます。

問１　あて名のお子さんがお住まいの町名をお答えください。（１つに○）

＜郵便番号が 176 の地域＞

1．旭丘	2．小竹町	3．栄町	4．羽沢	5．豊玉上
6．豊玉中	7．豊玉南	8．豊玉北	9．中村	10．中村南
11．中村北	12．桜台	13．練馬	14．向山	15．貫井

＜郵便番号が 177 の地域＞

16．富士見台	17．南田中	18．高野台	19．谷原	20．三原台
21．石神井町	22．石神井台	23．下石神井	24．関町北	25．関町南
26．上石神井南町	27．立野町	28．上石神井	29．関町東	

＜郵便番号が 178 の地域＞

30．東大泉	31．西大泉町	32．西大泉	33．南大泉	34．大泉町
35．大泉学園町				

＜郵便番号が 179 の地域＞

36．錦	37．氷川台	38．平和台	39．早宮	40．春日町
41．高松	42．北町	43．田柄	44．光が丘	45．旭町
46．土支田				

■すべての方に、あて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月を、元号に○をつけ、（　）内に数字でご記入ください。

平成・令和（　　）年（　　）月生まれ

問３　あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　）内に数字でご記入ください。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を元号に○をつけ、（　）内に数字でご記入ください。

きょうだい数（　　）人　　末子の生年月 平成・令和（　　）年（　　）月生まれ

問４　この調査票のご回答者はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つに○）

1．母親　　2．父親　　3．その他（　　）

問５　この調査票のご回答者の配偶関係についてお答えください。（１つに○）

1．配偶者がいる　　2．配偶者はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つに○）

1．父母ともに　2．主に母親　3．主に父親　4．主に祖父母　5．その他（　　）

問７　あて名のお子さんの世帯全体の昨年度の年収（税込み）は、仕事による収入と仕事外の収入を合わせて、おおよそどのくらいですか。（１つに○）

1．100 万円未満	2．100～200 万円未満	3．200～300 万円未満
4．300～400 万円未満	5．400～500 万円未満	6．500～700 万円未満
7．700～1,000 万円未満	8．1,000 万円以上	9．わからない

■すべての方に、子育ての環境についてうかがいます。

問８　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（いくつでも○）

1．日常的に祖父母等にみてもらえる
2．緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる
3．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
4．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
5．いずれもいない

問９　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（１つに○）

1．いる／ある　→　【問 10 へ】　　2．いない／ない　→　【問 11 へ】

＜問９で「１．いる／ある」を選んだ方にうかがいます。＞

問 10　お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は誰ですか。また、相談できる場所はどこですか。（いくつでも○）

1．配偶者、パートナー	2．親、兄弟姉妹など
3．友人、知人	4．隣近所の人
5．職場の人	6．保育所・幼稚園・学校の保護者の仲間
7．子育てサークルの仲間	8．保育士、幼稚園・学校の先生
9．かかりつけ医など	10．保育所・幼稚園・学校の区担当窓口
11．子ども家庭支援センター、すくすくアドバイザー	12．児童館、学童クラブ、地区区民館
13．子育てのひろば「ぴよぴよ」「にこにこ」など	14．総合福祉事務所の母子・父子自立支援員
15．ひとり親家庭総合相談窓口	16．民生・児童委員、主任児童委員
17．学校教育支援センターの教育相談室	18．妊娠・子育て相談員、保健相談所
19．児童相談所（東京都児童相談センター）	20．民間の電話相談
21．ベビーシッター	22．インターネットの子育てサイト
23．その他（　　）	

■すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

（1）母親【父子家庭の場合は記入不要です】（1つに○）

1．就労しており、産休・育休・介護休業中ではない　}【問 12 へ】
2．就労しているが、産休・育休・介護休業中である　}【問 12 へ】
3．以前は就労していたが、現在は就労していない　}【問 15 へ】
4．これまで就労したことがない　}【問 15 へ】

（2）父親【母子家庭の場合は記入不要です】（1つに○）

1．就労しており、育休・介護休業中ではない　}【問 12 へ】
2．就労しているが、育休・介護休業中である　}【問 12 へ】
3．以前は就労していたが、現在は就労していない　}【問 15 へ】
4．これまで就労したことがない　}【問 15 へ】

＜問 11 の（1）母親または（2）父親で、「1．」または「2．」（就労している）を選んだ方にうかがいます。＞

問 12　就労日数、就労時間（残業時間を含む）、就労形態についてお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
日数と時間は（　）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。
就労形態が「その他」の場合は、（　）内に具体的な就労形態をご記入ください。

（1）母親

1週当たり（　　）日
1日当たり（　　）時間（残業時間を含む）
就労形態〔 正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕

（2）父親

1週当たり（　　）日
1日当たり（　　）時間（残業時間を含む）
就労形態〔 正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕

問 13　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（　）内に 24 時間制でご記入ください。（例：8 時 30 分～18 時 30 分）。

（1）母親

家を出る時刻（　　）時（　　）分　帰宅時刻（　　）時（　　）分

（2）父親

家を出る時刻（　　）時（　　）分　帰宅時刻（　　）時（　　）分

問 14　今後、就労状況を変更する希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、（　）内に数字をご記入ください。

（1）母親

1．就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
2．就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
3．今の就労を続けることを希望
4．就労日数・時間を減らしたい
　→減少後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
2．就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
3．今の就労を続けることを希望
4．就労日数・時間を減らしたい
　→減少後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

＜問 11 の（1）母親または（2）父親で、「3．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4．これまで就労したことがない」を選んだ方にうかがいます。＞

問 15　今後、就労したい希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数と時間等は（　）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。
就労形態が「その他」の場合は、（　）内に具体的な就労形態をご記入ください。

（1）母親

1．子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
　→希望時期　（　　）か月後
　→希望する就労形態
　　ア．就労形態　〔正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕
　　イ．就労日数・就労時間　〔1 週当たり（　　）日　1 日当たり（　　）時間〕
4．就労の予定が決まっている
　→開始時期（　）年（　）月から　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である

（2）父親

1．子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
→希望時期　　（　　）か月後
→希望する就労形態
ア．就労形態　〔正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕
イ．就労日数・就労時間　〔1 週当たり（　　）日　1 日当たり（　　）時間〕
4．就労の予定が決まっている
→開始時期（　　）年（　　）月から 1 週当たり（　　）日 1 日当たり（　　）時間
5．就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である

■すべての方に、あて名のお子さんの平日の定期的な教育・保育事業の利用状況についてうかがいます。

※教育・保育事業とは、幼稚園、保育所、認可外保育施設などの事業を指します。親族・知人による預かりは含みません。具体的には、幼稚園や保育所など、問 17 に示した事業が含まれます。
※ここでいう「定期的」とは、月単位で定期的に利用している場合を指します。

問 16　あて名のお子さんは、現在、平日に定期的な教育・保育の事業を利用していますか。（1 つに○）

1．利用している　→　【問 17 へ】　　2．利用していない　→　【問 22 へ】

＜問 16 で「1．利用している」を選んだ方にうかがいます。＞

問 17　あて名のお子さんは、平日どのような教育・保育の事業を利用していますか。年間を通じて定期的に利用している事業をお答えください。（いくつでも○）

1．幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）
2．幼稚園・練馬こども園・認定こども園の預かり保育（通常の就園時間＋就園時間を延長して預かる事業を定期的に利用）
3．認定こども園
4．認可保育所
5．小規模保育事業
6．家庭的保育事業（保育ママ）
7．事業所内保育事業
8．居宅訪問型保育事業
9．認証保育所
10．企業主導型保育事業
11．ベビーシッター
12．ベビーホテル
　　} 【問 18 へ】
13．一時預かり事業を活用した定期利用保育（1 歳児 1 年保育）
14．ファミリーサポート事業
15．障害児通所支援
16．その他（　　）

＜問 17 で「9．認証保育所」「10．企業主導型保育事業」「11．ベビーシッター」「12．ベビーホテル」を選んだ方にうかがいます。＞

問 18　当該施設の利用の理由は何ですか。（いくつでも○）

1．指数による選考を経ずに入園することができるから
2．当該施設が提供する保育以外の独自のサービス（英会話など）を希望しているから
3．場所が送迎に便利だから・送迎が不要だから
4．料金が安いから
5．その他（　　）

問 19　平日の定期的な教育・保育の事業について、現在の利用頻度と、希望の利用頻度を（　）内にご記入ください。時間は 24 時間制でご記入ください（例：9 時 00 分～18 時 00 分）。

（1）現在の利用頻度

1 週当たり（　　）日
1 日当たり（　　）時間　（　　）時（　　）分～（　　）時（　　）分

（2）希望の利用頻度

1 週当たり（　　）日
1 日当たり（　　）時間　（　　）時（　　）分～（　　）時（　　）分

問 20　現在、利用している教育・保育事業の実施場所についてうかがいます。（1 つに○）

1．練馬区内　　2．他の区市町村

問 21　平日の定期的な教育・保育の事業を利用している理由は何ですか。（いくつでも○）　→【問 23 へ】

1．子どもの教育や発達のため
2．子育て（教育を含む）をしている方が現在就労している
3．子育て（教育を含む）をしている方が就労予定である／求職中である
4．子育て（教育を含む）をしている方が家族・親族などを介護している
5．子育て（教育を含む）をしている方に病気や障害がある
6．子育て（教育を含む）をしている方が学生である
7．その他（　　）

＜問 16 で「2．利用していない」を選んだ方にうかがいます。＞

問 22　平日の定期的な教育・保育の事業を利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）

1．子どもは自分で育てたい
2．子どもは家庭で育てるべきである
3．子どもの祖父母等がみている
4．近所の人や友人・知人がみている
5．利用したいが、教育・保育の事業に空きがない
6．利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
7．利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
8．利用したいが、事業の質や場所など、納得できる事業がない
9．一時預かりを利用している
10．子どもがまだ小さいため〔（　　）歳くらいになったら利用しようと考えている〕
11．利用方法（手続き等）がわからない
12．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
13．その他（　　）

＜現在利用している、していないにかかわらず、すべての方にうかがいます。＞

問 23　あて名のお子さんについて、平日の定期的な教育・保育として利用したい事業をお答えください。令和３年４月１日時点のお子さんの年齢以降、５歳までのお子さんの年齢ごとに下表の【希望する教育・保育事業】から１つ～３つ、番号をご記入ください。

また、その事業を希望する上で重視する条件について、下表の【希望する上で重視する条件】から１つ～３つ、番号をご記入ください。あわせて、利用希望日数、利用希望時間もご記入ください。

例）令和３年４月１日時点で３歳の子がいる場合は３～５歳の欄にご記入ください。

	希望する教育・保育事業（３つまで）			希望する上で重視する条件（３つまで）			１週当たり希望日数	１日当たり希望時間
０歳							日	時間
１歳							日	時間
２歳							日	時間
３歳							日	時間
４歳							日	時間
５歳							日	時間

【希望する教育・保育事業】

１．幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）
２．幼稚園・練馬こども園・認定こども園の預かり保育（通常の就園時間＋就園時間を延長して預かる事業を定期的に利用）
３．認定こども園
４．延長保育のある認可保育所
５．延長保育のない認可保育所
６．小規模保育事業
７．家庭的保育事業（保育ママ）
８．事業所内保育事業
９．居宅訪問型保育事業
10．認証保育所
11．企業主導型保育事業
12．ベビーシッター
13．ベビーホテル
14．一時預かり事業を活用した定期利用保育（1 歳児 1 年保育）
15．ファミリーサポート事業
16．障害児通所支援
17．その他（　　）
18．利用希望なし

【希望する上で重視する条件】

１．教育・保育の内容や方針　　２．教員・保育者の質
３．施設や設備　　４．園庭の有無
５．保育時間　　６．認可の有無
７．保育料　　８．自宅からの距離
９．利用する駅や職場からの距離　　10．その他（　　）

問 24　教育・保育事業を利用したい場所についてうかがいます。（１つに○）

１．練馬区内　　２．他の区市町村

＜問 23 で「1．幼稚園（通常の就園時間の利用のみ）」または「2．幼稚園、練馬こども園、認定こども園の預かり保育」を選び、かつ、「３．」～「17．」もあわせて選んだ方にうかがいます。＞

問 25　一番利用したいのは幼稚園（幼稚園の預かり保育をあわせて利用する場合を含む）ですか。（１つに○）

また、「１．はい」を選んだ方は、【幼稚園を利用したい理由】から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．はい

【幼稚園を利用したい理由】

ア．教育の内容や方針が合っている　　イ．教員の質が高い
ウ．施設や設備が充実している　　エ．園庭が広い
オ．通園バスがある　　カ．課外活動（ピアノ・体操・英語など）が充実している
キ．保育料が適切である　　ク．自宅から近い
ケ．保育期間が適切である
〔２年保育　・　３年保育　・　その他（　　年保育）〕
コ．その他（　　）

２．いいえ

＜問 23 で「４．」または「５．」（認可保育所）を選んだ方にうかがいます。該当しない方は、問 27 へお進みください。＞

問 26　幼稚園の預かり保育を利用できるとしたら、お子さんを幼稚園に通わせたいですか。（１つに○）

また、「２．いいえ」を選んだ方は、【幼稚園の預かり保育を選ばなかった理由】から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．はい
２．いいえ

【幼稚園の預かり保育を選ばなかった理由】

ア．預かり保育の実施日数が少ない
イ．預かり保育の実施時間が短い
ウ．幼稚園は昼食の準備（お弁当など）が負担になる
エ．幼稚園は保護者会活動や行事への参加など保護者の負担が大きい
オ．その他（　　）

■すべての方に、あて名のお子さんの地域の子育て支援事業の利用状況についてうかがいます。

問 27　現在、親子が集まって過ごしたり、相談をしたり、情報提供を受けたりする場を利用していますか。下表から、利用しているものすべてに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を（　）内にご記入ください。なお、感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、利用制限が行われている場合もあります。

1．ぴよぴよ（区立の子育てのひろば）
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
2．NPO 法人などが運営している子育てのひろば
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
3．民間学童保育施設の子育てのひろば
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
4．にこにこ（学童クラブ室を活用した子育てのひろば）
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
5．その他（具体名：　　）
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
6．感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、現在は利用していない
7．感染症（新型コロナウイルス等）の影響によらず、利用していない

問 28　問 27 のような事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいですか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、おおよその利用回数（頻度）を（　）内にご記入ください。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1．利用していないが、今後利用したい
　1 週当たり（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり（　　）回程度
2．すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
　1 週当たり 更に（　　）回　　もしくは　　1 か月当たり 更に（　　）回程度
3．新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

問 29　つぎの事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後、利用したいものをお答えください。①～⑧の事業ごとに、A～Cのそれぞれについて、「1．はい」「2．いいえ」のいずれかに○をつけてください。なお、事業によっては、お住まいの地域で実施されていないものや、感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、利用制限が行われる場合もあります。

	A 知っている		B これまでに利用したことがある		C 今後利用したい	
①赤ちゃん準備教室、母親（父親）学級、両親学級、育児学級	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
②保健相談所の情報・相談事業	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
③家庭教育に関する学級・講座	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
④保育所や幼稚園の園庭等の開放	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑤子ども家庭支援センター	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑥練馬区発行の子育て支援情報誌（ねりま子育て応援ハンドブック等）	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑦こんにちは赤ちゃん訪問事業	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ
⑧ひとり親家庭総合相談窓口、ひとり親家庭のしおり	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ	1．はい	2．いいえ

■すべての方に、あて名のお子さんの土曜・休日や長期休業中の定期的な教育・保育事業の利用希望についてうかがいます。

問 30　あて名のお子さんの、土曜日と日曜日・祝日における定期的な教育・保育事業の利用を希望しますか（一時的な利用は除きます。）。希望がある場合は、利用したい日数や時間帯を、（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：9 時 00 分～18 時 00 分）。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

（1）土曜日

1．利用する必要はない
2．月に 1～2 回利用したい
3．ほぼ毎週利用したい
→（　）時（　）分～（　）時（　）分　に利用したい

（2）日曜日・祝日

1．利用する必要はない
2．月に 1～2 回利用したい
3．ほぼ毎週利用したい
→（　）時（　）分～（　）時（　）分　に利用したい

＜「幼稚園」を利用している方にうかがいます。該当しない方は、問 32 へお進みください。＞

問 31　夏休みなどの長期休業期間に、幼稚園や保育所等へお子さんを預けたいですか。預けたい場合は、預けたい日数や時間帯を、（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：9 時 00 分～18 時 00 分）。なお、事業の利用には、一定の利用者負担が発生する場合があります。

1．預ける必要はない
2．月に 1～2 回利用したい → （　）時（　）分～（　）時（　）分 に利用したい
3．ほぼ毎週利用したい → 週（　）回
　（　）時（　）分～（　）時（　）分　に利用したい

■問 16（平日の定期的な教育・保育事業）で「1．利用している」を選んだ方に、あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。 該当しない方は、問 36 へお進みください。

問 32　この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで通常の事業が利用できなかったことはありますか。（1 つに○）

1．あった　→　【問 33 へ】　　2．なかった　→　【問 36 へ】

＜問 32 で「1．あった」を選んだ方にうかがいます。＞

問 33　この 1 年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、日数を（　）内にご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。）。

1 年間に行った対処方法	日数	
1．父親が仕事を休んで看た	（　）日程度	【問 34 へ】
2．母親が仕事を休んで看た	（　）日程度	
3．父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	（　）日程度	【問 35 へ】
4．（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	（　）日程度	
5．病児・病後児の保育を利用した	（　）日程度	
6．ベビーシッターを利用した	（　）日程度	
7．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　）日程度	
8．その他（　　）	（　）日程度	

＜問 33 で「１．」または「２．」を選んだ方にうかがいます。＞

問 34　その際、「仕事を休まないで済むように、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号を１つ選び、【望ましいと思う事業形態】・【利用したいと思わない理由】のいずれかから、あてはまるものすべてに○をつけてください。「１．」を選んだ方は、日数も（　　）内にご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

１．病児・病後児保育施設等を利用したい ⇒（　　）日

【望ましいと思う事業形態】
ア．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
イ．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
ウ．病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業
エ．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
オ．その他（　　）

２．利用したいと思わない

【利用したいと思わない理由】
ア．他人に看てもらうのは不安である
イ．事業の質に不安がある
ウ．利便性（立地や利用可能時間帯・日数など）がよくない
エ．利用料がかかる・高い
オ．利用料がわからない
カ．保護者が仕事を休んで対応する
キ．利用方法（手続き等）がわからない
ク．利用方法が煩雑である
ケ．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
コ．その他（　　）

＜問 33 で「３．」～「８．」のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問 35　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。（1 つに○）
また、「１．」を選んだ方は、問 33 で答えた日数のうち、仕事を休んで看たかった日数をご記入ください。
「２．」を選んだ方は、【休んで看ることが難しい理由】から、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．できれば仕事を休んで看たい ⇒（　　）日
２．休んで看ることは難しい

【休んで看ることが難しい理由】
ア．子どもの看護を理由に休みがとれない
イ．自営業なので休めない
ウ．休暇日数が足りないので休めない
エ．その他（　　）

■すべての方に、あて名のお子さんの不定期の教育・保育事業や宿泊を伴う一時預かり等の利用についてうかがいます。

問 36　日中の定期的な教育・保育や病気のため以外に、あて名のお子さんが保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、この１年間のおおよその利用日数も（　　）内にご記入ください。

利用している事業	日数	
１．保育施設での一時預かり	（　　）日程度	【問 38 へ】
２．乳幼児一時預かり（ぴよぴよ）	（　　）日程度	
３．民設子育てのひろばでの一時預かり（私用など理由を問わずに、民間団体が運営している子育てのひろばで一時的に子どもを保育する事業）	（　　）日程度	
４．幼稚園の預かり保育（通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ）	（　　）日程度	
５．ファミリーサポート事業	（　　）日程度	
６．子どもトワイライトステイ	（　　）日程度	
７．ベビーシッター	（　　）日程度	
８．その他（　　）	（　　）日程度	
９．利用していない		【問 37 へ】

＜問 36 で「９．利用していない」を選んだ方にうかがいます。＞

問 37　利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）　→ **【問 38 へ】**

１．普段利用している教育・保育事業で預かってもらえるため
２．（同居を含む）親族・知人にみてもらえるため
３．利用したい事業が地域にない
４．事業の質に不安がある
５．利便性（立地や利用可能時間帯・日数など）がよくない
６．利用料がかかる・高い
７．利用料がわからない
８．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
９．利用方法（手続き等）がわからない
10．利用方法が煩雑である
11．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
12．その他（　　）

＜すべての方にうかがいます。＞

問 38　あて名のお子さんについて、保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、問 36 の事業を利用したいですか。利用希望の有無について、いずれかの番号に○をつけてください。
また、利用したい場合は、年間で利用したい日数を（　）内にご記入ください（利用したい日数の合計と、内訳の日数をご記入ください。）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります。

1．利用したい　→　【問 39 へ】		計（　）日
	ア　私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的	（　）日
	イ　冠婚葬祭、学校行事	（　）日
	ウ　保護者の通院	（　）日
	エ　祖父母の介護	（　）日
	オ　不定期の就労	（　）日
	カ　その他（　）	（　）日
2．利用する必要はない　→　【問 42 へ】		

＜問 38 で「1．利用したい」を選んだ方にうかがいます。＞

問 39　問 38 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。（いくつでも○）

1．保育施設での一時預かり
2．乳幼児一時預かり（ぴよぴよ）
3．民設子育てのひろばでの一時預かり
4．幼稚園の預かり保育
5．ファミリーサポート事業
6．子どもトワイライトステイ
7．ベビーシッター
8．その他（　）

問 40　利用したい曜日はいつですか。（いくつでも○）

1．月曜日　2．火曜日　3．水曜日　4．木曜日
5．金曜日　6．土曜日　7．日曜日・祝日

問 41　利用したい時間帯を、（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：9 時 00 分～18 時 00 分）。

（　）時（　）分　～　（　）時（　）分

＜すべての方にうかがいます。＞

問 42　この 1 年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数を（　）内にご記入ください。

	1 年間に行った対処方法	日数	
1．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（　）泊	【問 43 へ】
	イ．子どもショートステイを利用した	（　）泊	
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　）泊	
	エ．預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	（　）泊	【問 44 へ】
	オ．預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　）泊	
	カ．その他（　）	（　）泊	
2．なかった			

＜問 42 で「1．あった」のうち、「ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった」を選んだ方にうかがいます。＞

問 43　その場合の困難度はどの程度でしたか。（1 つに○）

1．非常に困難　2．どちらかというと困難　3．特に困難ではない

■あて名のお子さんが５歳以上である方に、小学校就学後の放課後の過ごし方についてうかがいます。該当しない方は、問 47 へお進みください。

問 44　あて名のお子さんが小学生になったとき、放課後（平日の小学校終了後）の時間をどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、希望する日数をご記入ください。
「学童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も（　）内に 24 時間制でご記入ください。（例：19 時）

（１）小学校低学年（１～３年生）のとき

１．自宅	週（　　）日くらい	
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい	
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい	
４．児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）※	週（　　）日くらい	
５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	週（　　）日くらい	→【問 45 へ】
６．学校開放（校庭・図書館）	週（　　）日くらい	
７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	週（　　）日くらい →下校時から（　　）時まで	【問 46 へ】
８．ファミリーサポート事業	週（　　）日くらい	
９．その他（生涯学習センター、公園など）	週（　　）日くらい	

※児童館、厚生文化会館、地区区民館内の学童クラブの利用を希望する場合は「７．」に回答してください。

（２）　小学校高学年（４～６年生）のとき

※だいぶ先のことになりますが、現在お持ちのイメージでお答えください。

１．自宅	週（　　）日くらい	
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　　）日くらい	
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　　）日くらい	
４．児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）※	週（　　）日くらい	
５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	週（　　）日くらい	→【問 45 へ】
６．学校開放（校庭・図書館）	週（　　）日くらい	
７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	週（　　）日くらい →下校時から（　　）時まで	【問 46 へ】
８．ファミリーサポート事業	週（　　）日くらい	
９．その他（生涯学習センター、公園など）	週（　　）日くらい	

※児童館、厚生文化会館、地区区民館内の学童クラブの利用を希望する場合は「７．」に回答してください。

＜問 44 の（１）または（２）で、「５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」を選んだ方にうかがいます。＞

問 45　土曜日と夏休みなどの長期休業期間に、ひろば事業を利用したいですか。（それぞれ１つに○）

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい
３．利用する必要はない

（２）夏休みなどの長期休業期間

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい
３．利用する必要はない

＜問 44 の（１）または（２）で、「７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」を選んだ方にうかがいます。＞

問 46　土曜日、日曜日・祝日、夏休みなどの長期休業期間に、学童クラブを利用したいですか。
（それぞれ１つに○）
また、利用したい時間帯を（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：８時～19 時）。
なお、事業の利用には、原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．４年生まで利用したい
３．５年生まで利用したい
４．６年生まで利用したい
５．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時

（２）日曜日・祝日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．４年生まで利用したい
３．５年生まで利用したい
４．６年生まで利用したい
５．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時

（３）夏休みなどの長期休業期間

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．４年生まで利用したい
３．５年生まで利用したい
４．６年生まで利用したい
５．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時



© ２０１１ 練馬区ねり丸

■すべての方に、育児休業や短時間勤務制度など職場の両立支援制度についてうかがいます。

問 47　あて名のお子さんが生まれた時の父母いずれか、もしくは双方の育児休業の取得状況についてお答えください。（それぞれ１つに○）
また、該当する（　）内に数字をご記入ください。取得していない方はその理由をご記入ください。

母親（１つに○）	父親（１つに○）
１．働いていなかった ２．育児休業を取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）年（　　）か月 ３．育児休業を取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）	１．働いていなかった ２．育児休業を取得した（取得中である） ⇒取得期間（　　）年（　　）か月 ３．育児休業を取得していない ⇒ **取得していない理由**（下から番号を選んでご記入ください）（いくつでも）

１．職場に育児休業を取りにくい雰囲気があった
２．仕事が忙しかった
３．（産休後に）仕事に早く復帰したかった
４．（育休後に）仕事に戻るのが難しそうだった
５．昇給・昇格などが遅れそうだった
６．収入減となり、経済的に苦しくなる
７．保育所などに預けることができた
８．配偶者が育児休業制度を利用した
９．配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
10．子育てや家事に専念するため退職した
11．職場に育児休業の制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
12．自営業、経営者のため育児休業制度がなかった
13．有期雇用のため育児休業の取得要件を満たさなかった
14．育児休業を取得できることを知らなかった
15．産前産後の休暇を取得できることを知らず、退職した
16．その他（　　）

問 48　子どもが原則１歳になるまで育児休業給付※1が支給される仕組みや、子どもが満３歳になるまでの育児休業等※2の期間は健康保険および厚生年金保険の保険料が免除になる仕組みがあります。この仕組みをご存じでしたか。（１つに○）
※１保育所における保育の実施が行われないなど、一定の要件を満たす場合は１歳６か月または２歳まで
※２法定の育児休業および企業が法定を上回る期間設けた育児休業に準ずる措置

１．育児休業給付、保険料免除のいずれも知っていた
２．育児休業給付のみ知っていた
３．保険料免除のみ知っていた
４．育児休業給付、保険料免除のいずれも知らなかった

＜問 47 で「２．育児休業を取得した（取得中である）」を選んだ方にうかがいます。該当しない方は、問 56 へお進みください。＞

問 49　育児休業取得後、職場に復帰しましたか。（１つに○）

（１）母親

１．育児休業取得後、職場に復帰した　→　【問 50 へ】
２．現在も育児休業中である　→　【問 55 へ】
３．育児休業中に離職した　→　【問 56 へ】

（２）父親

１．育児休業取得後、職場に復帰した　→　【問 50 へ】
２．現在も育児休業中である　→　【問 55 へ】
３．育児休業中に離職した　→　【問 56 へ】

＜問 49 で「１．育児休業取得後、職場に復帰した」を選んだ方にうかがいます。＞

問 50　育児休業から職場に復帰したのは、年度初めの保育所入所に合わせたタイミングでしたか。あるいはそれ以外でしたか。（１つに○）
※年度初めの認可保育所入所を希望して、１月～２月頃復帰して一時的に認可外保育所に入所した場合なども「１．」にあてはまります。また、年度初めでの入所を希望して復帰したが、実際には希望する保育所に入所できなかったという場合も「１．」を選択してください。

（１）母親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　２．それ以外だった

（２）父親

１．年度初めの入所に合わせたタイミングだった　　２．それ以外だった

問 51　お勤め先で取得可能な期間、実際の取得期間、希望取得期間について、（　）内に数字をご記入ください。
また、実際の取得期間と希望の取得期間が異なる方は、その理由もお答えください。

（１）母親

勤め先の取得可能期間	子どもが（　　）歳（　　）か月になるまで
実際の取得期間	子どもが（　　）歳（　　）か月のとき
希望	子どもが（　　）歳（　　）か月になるまで

【希望より早く復帰した方】（いくつでも○）

１．希望する保育所に入るため　　２．配偶者や家族の希望があったため
３．経済的な理由で早く復帰する必要があったため　　４．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
５．その他（　　）

【希望より遅く復帰した方】（いくつでも○）

１．希望する保育所に入れなかったため　　２．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
３．配偶者や家族の希望があったため　　４．職場の受入態勢が整っていなかったため
５．子どもをみてくれる人がいなかったため
６．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
７．その他（　　）

（2）父親

勤め先の取得可能期間	子どもが（　　）歳（　　）か月になるまで	
実際の取得期間	子どもが（　　）歳（　　）か月のとき	
希望	子どもが（　　）歳（　　）か月になるまで	

【希望より早く復帰した方】（いくつでも○）

1．希望する保育所に入るため　　2．配偶者や家族の希望があったため
3．経済的な理由で早く復帰する必要があったため　　4．人事異動や業務の節目の時期に合わせるため
5．その他（　　）

【希望より遅く復帰した方】（いくつでも○）

1．希望する保育所に入れなかったため　　2．自分や子どもなどの体調が思わしくなかったため
3．配偶者や家族の希望があったため　　4．職場の受入態勢が整っていなかったため
5．子どもをみてくれる人がいなかったため
6．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
7．その他（　　）

問 52　お勤め先に、育児のために 3 歳まで休暇を取得できる制度があった場合、希望としてはお子さんが何歳何か月のときまで休暇を取りたかったですか。（　）内に数字をご記入ください。

（1）母親

（　　）歳（　　）か月

（2）父親

（　　）歳（　　）か月

問 53　育児休業からの職場復帰時に、短時間勤務制度を利用していますか（利用しましたか）。
また、お勤め先の短時間勤務制度の期間内で、お子さんが何歳何か月のときまで取りたいですか（取りたかったですか。）。あてはまる番号 1 つに○をつけ、（　）内に数字をご記入ください。

（1）母親

1．短時間勤務制度を利用中　（　　）歳（　　）か月まで　→　【問 56 へ】
2．短時間勤務制度を利用した（　　）歳（　　）か月まで　→　【問 56 へ】
3．短時間勤務制度を利用しなかった　→　【問 54 へ】

勤め先の取得可能期間（　　）歳（　　）か月
希望　（　　）歳（　　）か月

（2）父親

1．短時間勤務制度を利用中　（　　）歳（　　）か月まで　→　【問 56 へ】
2．短時間勤務制度を利用した（　　）歳（　　）か月まで　→　【問 56 へ】
3．短時間勤務制度を利用しなかった→　【問 54 へ】

勤め先の取得可能期間（　　）歳（　　）か月
希望　（　　）歳（　　）か月

＜問 53 で「3．短時間勤務制度を利用しなかった」を選んだ方にうかがいます。該当しない方は、問 56 へお進みください。＞

問 54　短時間勤務制度を利用しなかった理由は何ですか。（いくつでも○）　→【問 56 へ】

（1）母親

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

（2）父親

1．職場に短時間勤務制度を取りにくい雰囲気があった
2．仕事が忙しかった
3．短時間勤務にすると給与が減額され、経済的に苦しくなる
4．短時間勤務にすると保育所の入所申請の優先順位が下がる
5．配偶者が育児休業制度や短時間勤務制度を利用した
6．配偶者が無職、祖父母等にみてもらえるなど、制度を利用する必要がなかった
7．子育てや家事に専念するため退職した
8．職場に短時間勤務制度がなかった（就業規則に定めがなかった）
9．短時間勤務制度を利用できることを知らなかった
10．その他（　　）

＜問 49 で「2．現在も育児休業中である」を選んだ方にうかがいます。＞

問 55　あて名のお子さんが 1 歳になったときに必ず利用できる事業（保育所等）があれば、1 歳になるまで育児休業を取得しますか。または、預けられる事業があっても 1 歳になる前に復帰しますか。（1 つに○）

（1）母親

1．1 歳になるまで育児休業を取得したい　　2．1 歳になる前に復帰したい

（2）父親

1．1 歳になるまで育児休業を取得したい　　2．1 歳になる前に復帰したい

＜すべての方にうかがいます。＞

問 56　育児休業を満了するために、どのようなサービスや取組が必要だと思いますか。（3 つまで○）

1．希望する時期に教育・保育事業を利用することのできる、予約制度等のサービス
2．休業期間の所得保障や給付金など経済的支援の充実
3．企業が代替要員を確保できる支援策の充実
4．育児休業取得者への企業の定期的な情報発信（事業報告、業界動向など）
5．復帰後の企業の支援策の充実
6．育児休業取得に対する企業や社会の理解の促進
7．その他（　　）

■すべての方に、家庭での生活についてうかがいます。

問 57　この１年間に、お金が足りず、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（１つに○）

１．よくあった　２．ときどきあった　３．まれにあった　４．まったくなかった

問 58　この１年間に、お金が足りず、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（１つに○）

１．よくあった　２．ときどきあった　３．まれにあった　４．まったくなかった

問 59　この１年間に、経済的な理由で、以下の料金を支払えないことがありましたか。（それぞれ１つに○）

	あった	なかった	該当しない（払う必要がない）
（１）電話料金	1	2	3
（２）電気料金	1	2	3
（３）ガス料金	1	2	3
（４）水道料金	1	2	3
（５）家賃・住宅ローン	1	2	3
（６）NHK の受信料	1	2	3

問 60　あて名のお子さんにつぎのようなことをしていますか。（それぞれ１つに○）

	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
（１）毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
（２）習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
（３）お誕生日のお祝いをする	1	2	3
（４）クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

問 61　つぎのうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものはありますか。（いくつでも○）

１．子どもの年齢に合った本	２．子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
３．洗濯機	４．炊飯器
５．掃除機	６．暖房機器
７．冷房機器	８．電子レンジ
９．電話（固定電話・携帯電話を含む）	10．インターネットにつながるパソコン
11．新聞の定期購読（インターネット含む）	12．世帯専用のおふろ
13．世帯人数分のベッドまたは布団	14．急な出費のための貯金（５万円以上）
15．あてはまるものはない	

■すべての方に、食事・健康についてうかがいます。

問 62　あなたとあて名のお子さんの健康状態についてうかがいます。（それぞれ、最も近い番号１つに○）

（１）あなた（回答者）

１．よい　２．まあよい　３．ふつう　４．あまりよくない　５．よくない

（２）あて名のお子さん

１．よい　２．まあよい　３．ふつう　４．あまりよくない　５．よくない

問 63　あなたとあて名のお子さんは、平日に毎日、朝ごはんを食べますか。（１つに○）

（１）あなた（回答者）

１．いつも食べる	２．食べるほうが多い（週に３、４日）
３．食べないほうが多い（週に１、２日）	４．いつも食べない

（２）あて名のお子さん

１．いつも食べる	２．食べるほうが多い（週に３、４日）
３．食べないほうが多い（週に１、２日）	４．いつも食べない

問 64　あて名のお子さんには、今、虫歯が何本くらいありますか。治療中のものも含み、数字でお答えください。
※虫歯がない場合は、０本とご記入ください。治療が終わったものは数えません。

虫歯の数　：　おおよそ（　　）本

■すべての方に、地域との交流についてうかがいます。

問 65　あなたの近所とのおつきあいの程度についてお答えください。（１つに○）

１．あいさつをする程度	２．ときどき道で話をする
３．相手の家に行って話をする	４．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
５．困っているときに、相談したり助けあったりしている	
６．感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、ほとんどつきあいはない	
７．感染症（新型コロナウイルス等）の影響によらず、ほとんどつきあいはない	

問 66　あなたは、近所とのおつきあいをどの程度望んでいますか。（１つに○）

１．あいさつをする程度	２．ときどき道で話をする
３．相手の家に行って話をする	４．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあう
５．困っているときに、相談したり助け合う	
６．おつきあいを必要としていない	

問 67　現在は感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、さまざまな地域行事が中止になっていますが、あなたは今後地域で行っている行事に参加したいですか。参加希望について、いずれかの番号に○をつけてください。また、「1.はい」を選んだ方は【参加したい行事】からあてはまるものすべてに○をつけてください。

１．はい

【参加したい行事】

ア．地域のお祭りや盆踊り大会	イ．スポーツ大会
ウ．文化活動（郷土芸能や音楽など）	エ．清掃活動
オ．野外活動（キャンプやハイキング）	カ．ボランティア活動
キ．その他（　　）	

２．いいえ

問 68　あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。（1 つに○）

1．ある　　2．ときどきある　　3．あまりない　　4．ない

■すべての方に、子育て全般についてうかがいます。

問 69　あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。（1 つに○）

1．楽しいと感じることが多い　→　【問 70 へ】
2．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい　} 【問 71 へ】
3．つらいと感じることの方が多い　} 【問 71 へ】
4．その他（　　）　} 【問 73 へ】
5．わからない　} 【問 73 へ】

＜問 69 で「1．楽しいと感じることが多い」を選んだ方にうかがいます。＞

問 70　子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。（いくつでも○）　→ **【問 73 へ】**

1．地域における子育て支援の充実　　2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり　　4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．妊娠・出産に対する支援　　6．母親・子どもの健康に対する安心
7．子どもの教育環境　　8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立　　10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．養育支援の充実　　12．その他（　　）

＜問 69 で「2．」または「3．」を選んだ方にうかがいます。＞

問 71　あなたは、どんなことに子育てのつらさを感じますか。（いくつでも○）

1．子どもの発達・発育　　2．子どもの教育・しつけ
3．育児協力者がいない　　4．身近な相談者がいない
5．経済的理由　　6．その他（　　）

問 72　つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。（いくつでも○）

1．地域における子育て支援の充実　　2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり　　4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．妊娠・出産に対する支援　　6．母親・子どもの健康に対する安心
7．子どもの教育環境　　8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立　　10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．養育支援の充実　　12．その他（　　）

＜すべての方にうかがいます。＞

問 73　練馬区における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（1 つに○）

満足度が低い ←――――――→ 満足度が高い
1　2　3　4　5

問 74　あなたは、今後も練馬区で子育てを続けたいですか。（1 つに○）

1．続けたい　　2．できれば続けたい
3．あまり続けたくない　　4．続けたくない

問 75　最後に、教育・保育環境や子育て支援施策の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
返送用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。



© ２０１１ 練馬区ねり丸

「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの
検討に向けたニーズ調査にご協力ください
（小学校児童家庭用）

区では、多様化する子育てサービスのニーズに応えるため、令和２年３月に「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画（令和２年度～６年度）」を策定し、施策を展開しています。

この調査は、子育て中の区民の皆様に、教育・保育サービスの利用意向などを伺い、計画の中間見直しを検討するために実施するものです。

設問が多く大変恐縮ですが、練馬区を、安心して子どもを産み楽しく子育てができるまちとするために必要な調査ですので、ぜひご協力をお願いいたします。

令和３年 11 月
練馬区

【ご記入に当たってのお願い】

■本調査のため、10 月 1 日時点の住民基本台帳から、3,000 人を無作為に選ばせていただきました。この調査は無記名であり、皆様の回答はすべて統計的に処理し、本調査の目的以外には決して使用いたしません。
■特にことわりのない限り、すべての質問にお答えください。該当者のみお答えいただく質問もありますが、その場合は、質問の説明に従ってお答えください。
■回答は、あてはまる選択肢を選ぶものと、枠内に記入（入力）するものがあります。また、設問によって選択肢を選ぶ数が異なりますので、注意書きに沿ってお答えください。
■回答方法について、詳しくは裏面をご参照ください。

回答期限　　11月15日（月）まで

お問い合わせ先

【調査の趣旨】
練馬区　教育委員会事務局　こども家庭部　こども施策企画課　こども施策担当係
電話：03-5984-1306
メールアドレス：KODOMOSISAKU@city.nerima.tokyo.jp
受付時間（電話）：月曜日～金曜日（平日）８時 30 分～17 時 15 分

【調査内容・回答方法：調査委託先】
株式会社 日本能率協会総合研究所
電話：0120-550-156（フリーダイヤル）
受付時間：月曜日～金曜日（平日）10 時～12 時、13 時～17 時

本調査への回答方法

以下のいずれかの方法によりご回答ください。
1．　郵送による回答方法（送付した調査票に直接記入）
2．　インターネット（パソコン、スマートフォンなど）による回答方法

1．郵送による回答方法

①調査票に直接回答を書き込んでください。

②回答を記入した調査票を同封の返信用封筒に入れ、締切日までに郵便ポストにご投函ください。（切手を貼る必要はありません。）

2．インターネットによる回答方法



①パソコン、スマートフォンなどで、次のＵＲＬを入力するか、
二次元コードを読み込み、アクセスしてください。

●サイトＵＲＬ	●二次元コード
https://nerima-kodomo-kosodate.com/	

②次の「利用者ＩＤ」と「パスワード」を入力してください。この利用者ＩＤとパスワードは、回答内容を識別するものであり、個人を特定するものではありません。
※利用者ＩＤ、パスワードはすべて半角で入力してください。

利用者ＩＤ【　　】パスワード【　　】

③画面の指示をお読みいただきながら、ご回答ください。
最後まで入力が完了しましたら、ボタン【確認画面へ】をクリックしてください。
確認画面へ移動後、入力した情報を確認し、問題なければ【送信する】をクリックしてください。入力した情報を修正したい場合は、【修正する】をクリックすると、入力画面に戻ります。
【送信する】をクリック後、「ご回答ありがとうございました」と表示されれば、終了になります。

④注意事項
入力画面上部にあるボタン【入力内容を一時的に保存する】をクリックすると、入力内容を一時的に保存することができます。再度同じ利用者ＩＤでログインすれば、入力を再開することができます。
ログイン後、何も動かさないまま 30 分すると自動的にログアウトされます。その際、入力内容は消失してしまいます。

「第２期練馬区子ども・子育て支援事業計画」の中間見直しの検討に向けたニーズ調査

■すべての方に、お住まいの地域についてうかがいます。

問１　あて名のお子さんがお住まいの町名をお答えください。（１つに○）

＜郵便番号が 176 の地域＞

1．旭丘	2．小竹町	3．栄町	4．羽沢	5．豊玉上
6．豊玉中	7．豊玉南	8．豊玉北	9．中村	10．中村南
11．中村北	12．桜台	13．練馬	14．向山	15．貫井

＜郵便番号が 177 の地域＞

16．富士見台	17．南田中	18．高野台	19．谷原	20．三原台
21．石神井町	22．石神井台	23．下石神井	24．関町北	25．関町南
26．上石神井南町	27．立野町	28．上石神井	29．関町東	

＜郵便番号が 178 の地域＞

30．東大泉	31．西大泉町	32．西大泉	33．南大泉	34．大泉町
35．大泉学園町				

＜郵便番号が 179 の地域＞

36．錦	37．氷川台	38．平和台	39．早宮	40．春日町
41．高松	42．北町	43．田柄	44．光が丘	45．旭町
46．土支田				

■すべての方に、あて名のお子さんとご家族の状況についてうかがいます。

問２　あて名のお子さんの生年月を、（　）内に数字でご記入ください。

平成（　　）年（　　）月生まれ

問３　あて名のお子さんのきょうだいは何人いらっしゃいますか。あて名のお子さんを含めた人数を（　）内に数字でご記入ください。２人以上のお子さんがいらっしゃる場合は、末子の方の生年月を元号に○をつけ、（　）内に数字でご記入ください。

きょうだい数（　　）人　　末子の生年月 平成・令和（　　）年（　　）月生まれ

問４　この調査票のご回答者はどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つに○）

１．母親　　２．父親　　３．その他（　　）

問５　この調査票のご回答者の配偶関係についてお答えください。（１つに○）

１．配偶者がいる　　２．配偶者はいない

問６　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）を主に行っているのはどなたですか。あて名のお子さんからみた関係でお答えください。（１つに○）

１．父母ともに　２．主に母親　３．主に父親　４．主に祖父母　５．その他（　　）

問７　あて名のお子さんの世帯全体の昨年度の年収（税込み）は、仕事による収入と仕事外の収入を合わせて、おおよそどのくらいですか。（１つに○）

１．100 万円未満	２．100～200 万円未満	３．200～300 万円未満
４．300～400 万円未満	５．400～500 万円未満	６．500～700 万円未満
７．700～1,000 万円未満	８．1,000 万円以上	９．わからない

■すべての方に、子育ての環境についてうかがいます。

問８　日頃、あて名のお子さんをみてもらえる親族・知人はいますか。（いくつでも○）

１．日常的に祖父母等にみてもらえる
２．緊急時もしくは用事の際には祖父母等にみてもらえる
３．日常的に子どもをみてもらえる友人・知人がいる
４．緊急時もしくは用事の際には子どもをみてもらえる友人・知人がいる
５．いずれもいない

問９　あて名のお子さんの子育て（教育を含む）をする上で、気軽に相談できる人はいますか。また、相談できる場所はありますか。（１つに○）

１．いる／ある　→　【問 10 へ】　　２．いない／ない　→　【問 11 へ】

＜問９で「１．いる／ある」を選んだ方にうかがいます。＞

問 10　お子さんの子育て（教育を含む）に関して、気軽に相談できる人は誰ですか。また、相談できる場所はどこですか。（いくつでも○）

１．配偶者、パートナー	２．親、兄弟姉妹など
３．友人、知人	４．隣近所の人
５．職場の人	６．学校・保育所・幼稚園の保護者の仲間
７．子育てサークルの仲間	８．学校の先生、保育士、幼稚園の先生
９．かかりつけ医など	10．学校・学童クラブ等の区担当窓口
11．子ども家庭支援センター、すくすくアドバイザー	12．児童館、学童クラブ、地区区民館
13．総合福祉事務所の母子・父子自立支援員	14．ひとり親家庭総合相談窓口
15．民生・児童委員、主任児童委員	16．学校教育支援センターの教育相談室
17．保健相談所	18．児童相談所（東京都児童相談センター）
19．民間の電話相談	20．ベビーシッター
21．インターネットの子育てサイト	22．その他（　　）

■すべての方に、あて名のお子さんの保護者の就労状況についてうかがいます。

問 11　あて名のお子さんの保護者の現在の就労状況（自営業、家族従事者を含む）についてうかがいます。

（１）母親【父子家庭の場合は記入不要です】（１つに○）

１．就労しており、産休・育休・介護休業中ではない　｝【問 12 へ】
２．就労しているが、産休・育休・介護休業中である　｝【問 12 へ】
３．以前は就労していたが、現在は就労していない　｝【問 15 へ】
４．これまで就労したことがない　｝【問 15 へ】

（２）父親【母子家庭の場合は記入不要です】（１つに○）

１．就労しており、育休・介護休業中ではない　｝【問 12 へ】
２．就労しているが、育休・介護休業中である　｝【問 12 へ】
３．以前は就労していたが、現在は就労していない　｝【問 15 へ】
４．これまで就労したことがない　｝【問 15 へ】

＜問 11 の（1）母親または（2）父親で、「1．」または「2．」（就労している）を選んだ方にうかがいます。＞

問 12　就労日数、就労時間（残業時間を含む）、就労形態についてお答えください。
就労日数や就労時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。
産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。
日数と時間は（　）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。
就労形態が「その他」の場合は、（　）内に具体的な就労形態をご記入ください。

（1）母親

1 週当たり（　　）日
1 日当たり（　　）時間（残業時間を含む）
就労形態〔 正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕

（2）父親

1 週当たり（　　）日
1 日当たり（　　）時間（残業時間を含む）
就労形態〔 正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕

問 13　家を出る時刻と帰宅時刻をお答えください。時間が一定でない場合は、最も多いパターンについてお答えください。産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況についてお答えください。時間は（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：8 時 30 分～18 時 30 分）。

（1）母親

家を出る時刻（　　）時（　　）分　帰宅時刻（　　）時（　　）分

（2）父親

家を出る時刻（　　）時（　　）分　帰宅時刻（　　）時（　　）分

問 14　今後、就労状況を変更する希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、（　）内に数字をご記入ください。

（1）母親

1．就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
2．就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
3．今の就労を続けることを希望
4．就労日数・時間を減らしたい
　→減少後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

（2）父親

1．就労日数・時間を増やす希望があり、実現できる見込みがある
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
2．就労日数・時間を増やす希望はあるが、実現できる見込みはない
　→増加後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
3．今の就労を続けることを希望
4．就労日数・時間を減らしたい
　→減少後の日数等　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．仕事をやめて子育てや家事に専念したい

＜問 11 の（1）母親または（2）父親で、「3．以前は就労していたが、現在は就労していない」または「4．これまで就労したことがない」を選んだ方にうかがいます。＞

問 15　今後、就労したい希望はありますか。あてはまる番号 1 つに○をつけ、日数と時間等は（　）内に数字をご記入ください。就労形態は該当するものに○をつけてください。
就労形態が「その他」の場合は、（　）内に具体的な就労形態をご記入ください。

（1）母親

1．子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
　→希望時期　（　　）か月後
　→希望する就労形態
　　ア．就労形態　〔正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕
　　イ．就労日数・就労時間　〔1 週当たり（　　）日　1 日当たり（　　）時間〕
4．就労の予定が決まっている
　→開始時期（　）年（　）月から　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である

（2）父親

1．子育てや家事に専念したい（就労の予定はない）
2．1 年より先、一番下の子どもが（　　）歳になったころに就労したい
3．すぐにでも、もしくは 1 年以内に就労したい
　→希望時期　（　　）か月後
　→希望する就労形態
　　ア．就労形態　〔正規　派遣　パート・アルバイト　その他（　　）〕
　　イ．就労日数・就労時間　〔1 週当たり（　　）日　1 日当たり（　　）時間〕
4．就労の予定が決まっている
　→開始時期（　）年（　）月から　1 週当たり（　）日　1 日当たり（　）時間
5．就労したいが、家庭の事情や自分の健康的な理由により、困難である

■あて名のお子さんの放課後の過ごし方についてうかがいます。

問 16　あて名のお子さんを、放課後（平日の小学校終了後）の時間にどのような場所で過ごさせたいですか。あてはまる番号すべてに○をつけ、希望する日数をご記入ください。（１）は、お子さんが低学年（１～３年生）の方のみお答えください。（２）はすべての方がお答えください。
「学童クラブ」の場合は、利用を希望する時間も（　）内に 24 時間制でご記入ください。（例：19 時）

（１）低学年（１～３年生）のとき　※お子さんが低学年（１～３年生）の方のみ回答

１．自宅	週（　）日くらい	
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　）日くらい	
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　）日くらい	
４．児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）※	週（　）日くらい	
５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	週（　）日くらい	→【問 17 へ】
６．学校開放（校庭・図書館）	週（　）日くらい	
７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	週（　）日くらい →下校時から（　）時まで	【問 18 へ】
８．ファミリーサポート事業	週（　）日くらい	
９．その他（生涯学習センター、公園など）	週（　）日くらい	

※児童館、厚生文化会館、地区区民館内の学童クラブの利用を希望する場合は「７．」に回答してください。

（２）高学年（４～６年生）のとき　※すべての方が回答

※お子さんが低学年（１～３年生）の方は、現在お持ちのイメージでお答えください。

１．自宅	週（　）日くらい	
２．祖父母宅や友人・知人宅	週（　）日くらい	
３．習い事（ピアノ教室、サッカークラブ、学習塾など）	週（　）日くらい	
４．児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）※	週（　）日くらい	
５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば	週（　）日くらい	→【問 17 へ】
６．学校開放（校庭・図書館）	週（　）日くらい	
７．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ	週（　）日くらい →下校時から（　）時まで	【問 18 へ】
８．ファミリーサポート事業	週（　）日くらい	
９．その他（生涯学習センター、公園など）	週（　）日くらい	

※児童館、厚生文化会館、地区区民館内の学童クラブの利用を希望する場合は「７．」に回答してください。
※各事業の説明は次のページをご参照ください。



© ２０１１ 練馬区ねり丸

●児童館、厚生文化会館（児童室）、地区区民館（児童室の開放）
　地域の子どものための遊びや活動の場として、区内 17 か所の児童館、厚生文化会館（児童室）、区内 22 か所の地区区民館（児童室の開放）があります。

●学校応援団ひろば事業・ねりっこひろば
　学校の授業が終了した放課後に、小学校内のひろば室・校庭や図書室等を活用して放課後の安全・安心な児童の居場所を提供するものです。年間 500 円の保険料がかかります。学校応援団ひろば事業では地域の方々で構成された学校応援団が、ねりっこひろばでは地域の方々を中心とした事業者のスタッフが見守りを行います。

●学校開放（校庭・図書館）
　地域の児童の健全な遊び場・スポーツの場として全小学校 65 校の校庭を開放し、校庭開放指導員が見守りを行っています。また、小学校 40 校の図書館を、児童を主とした地域に開放しており、図書館開放指導員が図書を貸し出しています。

●学童クラブ・ねりっこ学童クラブ
　保護者の就労などのため放課後の保育を必要とする児童をお預かりする施設で、支援員の指導のもとに遊びや生活を通じて協力しあい、楽しくいきいきと放課後を過ごします。令和３年４月現在、区内には、児童館内、小学校内などに学童クラブ 52 か所、ねりっこ学童クラブが 37 か所あります。原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。

●ねりっこクラブ（ねりっこひろば＋ねりっこ学童クラブ）
　ねりっこクラブは、小学校の施設を活用して、「学校応援団ひろば事業」と「学童クラブ」のそれぞれの機能や特色を維持しながら、事業運営を一体的に行うものです。実施校の児童なら誰でも利用できる「ねりっこひろば」と、保育を必要とする児童を対象とした「ねりっこ学童クラブ」があり、児童の成長などに合わせて選択することができます。令和３年４月現在、区内 37 校で実施しており、将来的には全小学校で実施します。

＜問 16 の（１）または（２）で、「５．学校応援団ひろば事業、ねりっこひろば」を選んだ方にうかがいます。＞

問 17　土曜日と夏休みなどの長期休業期間に、ひろば事業を利用したいですか。（それぞれ１つに○）

（１）土曜日

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい
３．利用する必要はない

（２）夏休みなどの長期休業期間

１．低学年（１～３年生）の間は利用したい
２．高学年（４～６年生）になっても利用したい
３．利用する必要はない

＜問 16 の（1）または（2）で、「7．学童クラブ、ねりっこ学童クラブ」を選んだ方にうかがいます。＞

問 18 土曜日、日曜日・祝日、夏休みなどの長期休業期間に、学童クラブを利用したいですか。（それぞれ 1 つに○）
また、利用したい時間帯を（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：8 時～19 時）。なお、事業の利用には、原則として月額 5,500 円の保育料がかかります。

（1）土曜日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
2．4年生まで利用したい
3．5年生まで利用したい
4．6年生まで利用したい
5．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時

（2）日曜日・祝日

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
2．4年生まで利用したい
3．5年生まで利用したい
4．6年生まで利用したい
5．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時

（3）夏休みなどの長期休業期間

1．低学年（1～3年生）の間は利用したい
2．4年生まで利用したい
3．5年生まで利用したい
4．6年生まで利用したい
5．利用する必要はない

利用したい時間帯
（　　）時 ～ （　　）時

＜すべての方にうかがいます。＞

問 19 児童館に対して、あなたはどのように感じていますか（3つまで○）

1．利用日を拡大してほしい（具体的に：　　）
2．利用時間を見直してほしい（具体的に：　　）
3．乳幼児親子のつどいの場の拡大や、子育てサークルの支援を充実してほしい
4．中高生を対象とした取組を充実してほしい
5．施設内の事業だけでなく、学校や地域等との地域活動を強化してほしい
6．現在のままでよい
7．児童館のことは知らない
8．その他（　　）

■すべての方に、あて名のお子さんの病気の際の対応についてうかがいます。

問 20 この 1 年間に、あて名のお子さんが病気やケガで学校を休まなければならなかったことはありますか。
（1 つに○）

1．あった → 【問 21 へ】　　2．なかった → 【問 24 へ】

＜問 20 で「1．あった」を選んだ方にうかがいます。＞

問 21 この 1 年間に行った対処方法としてあてはまる番号すべてに○をつけ、日数を（　）内にご記入ください（半日程度の対応の場合も 1 日とカウントしてください。）。

1 年間に行った対処方法	日数	
1．父親が仕事を休んで看た	（　）日程度	【問 22 へ】
2．母親が仕事を休んで看た	（　）日程度	
3．父親または母親のうち就労していない方が子どもを看た	（　）日程度	【問 23 へ】
4．（同居者を含む）親族・知人に子どもを看てもらった	（　）日程度	
5．病児・病後児の保育を利用した	（　）日程度	
6．ベビーシッターを利用した	（　）日程度	
7．仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　）日程度	
8．その他（　　）	（　）日程度	

＜問 21 で「1．」または「2．」を選んだ方にうかがいます。＞

問 22 その際、「仕事を休まないで済むように、病児・病後児のための保育施設等を利用したい」と思いましたか。あてはまる番号を 1 つ選び、【望ましいと思う事業形態】・【利用したいと思わない理由】のいずれかから、あてはまるものすべてに○をつけてください。「1．」を選んだ方は、日数も（　）内にご記入ください。
なお、事業の利用には、一定の利用料がかかり、利用前にかかりつけ医の受診が必要となります。

1．病児・病後児保育施設※等を利用したい ⇒（　　）日
※区で実施している病児・病後児保育施設は、10 歳未満の児童が利用できます。

【望ましいと思う事業形態】
ア．他の施設（例：幼稚園・保育所等）に併設した施設で子どもを保育する事業
イ．小児科に併設した施設で子どもを保育する事業
ウ．病児・病後児保育の専用施設で子どもを保育する事業
エ．地域住民等が子育て家庭等の身近な場所で保育する事業
オ．その他（　　）

2．利用したいと思わない

【利用したいと思わない理由】
ア．他人に看てもらうのは不安である
イ．事業の質に不安がある
ウ．利便性（立地や利用可能時間帯・日数など）がよくない
エ．利用料がかかる・高い
オ．利用料がわからない
カ．保護者が仕事を休んで対応する
キ．利用方法（手続き等）がわからない
ク．利用方法が煩雑である
ケ．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
コ．その他（　　）

＜問 21 で「３．」～「８．」のいずれかを選んだ方にうかがいます。＞

問 23　その際、「できれば父母のいずれかが仕事を休んで看たい」と思いましたか。（1 つに○）
また、「１．」を選んだ方は、問 21 で答えた日数のうち、仕事を休んで看たかった日数をご記入ください。
「２．」を選んだ方は、【休んで看ることが難しい理由】のうち、あてはまるものすべてに○をつけてください。

１．できれば仕事を休んで看たい ⇒（　　）日
２．休んで看ることは難しい

【休んで看ることが難しい理由】
ア．子どもの看護を理由に休みがとれない　　イ．自営業なので休めない
ウ．休暇日数が足りないので休めない　　エ．その他（　　）

■すべての方に、あて名のお子さんが不定期に利用したり、宿泊を伴って利用する事業についてうかがいます。

問 24　日中の定期的な保育（学童クラブ等）や病気のため以外に、あて名のお子さんが保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。あてはまる番号すべてに○をつけ、この 1 年間のおおよその利用日数も（　）内にご記入ください。

利用している事業	日数	
１．ファミリーサポート事業（地域住民が子どもを預かる事業）	（　　）日程度	【問 26 へ】
２．子どもトワイライトステイ（夜間に子どもを預かる事業）	（　　）日程度	
３．ベビーシッター	（　　）日程度	
４．その他（　　）	（　　）日程度	
５．利用していない		【問 25 へ】

＜問 24 で「5．利用していない」を選んだ方にうかがいます。＞

問 25　利用していない理由は何ですか。（いくつでも○）　→ **【問 26 へ】**

１．普段利用している保育事業（学童クラブ等）で預かってもらえるため
２．（同居を含む）親族・知人にみてもらえるため
３．利用したい事業が地域にない
４．事業の質に不安がある
５．利便性（立地や利用可能時間帯・日数など）がよくない
６．利用料がかかる・高い
７．利用料がわからない
８．自分が事業の対象者になるのかどうかわからない
９．利用方法（手続き等）がわからない
10．利用方法が煩雑である
11．感染症（新型コロナウイルス等）が心配なため
12．その他（　　）

＜すべての方にうかがいます。＞

問 26　あて名のお子さんについて、保護者の私用・通院・不定期の就労等の目的で、問 24 の事業を利用したいですか。利用希望の有無について、いずれかの番号に○をつけてください。
また、利用したい場合は、年間で利用したい日数を（　）内にご記入ください（利用したい日数の合計と、内訳の日数をご記入ください。）。なお、事業の利用には、一定の利用料がかかります※。
※ファミリーサポート事業：平日 1 時間 800 円（土・日曜、祝日、年末年始 1 時間 900 円）
子どもトワイライトステイ：1 回 2,000 円（減免あり）

１．利用したい　→　【問 27 へ】		計（　　）日
	ア　私用（買物、美容院、習い事等）、リフレッシュ目的	（　　）日
	イ　冠婚葬祭、学校行事	（　　）日
	ウ　保護者の通院	（　　）日
	エ　祖父母の介護	（　　）日
	オ　不定期の就労	（　　）日
	カ　その他（　　）	（　　）日
２．利用する必要はない　→　【問 30 へ】		

＜問 26 で「１．利用したい」を選んだ方にうかがいます。＞

問 27　問 26 の目的でお子さんを預ける場合、下記のいずれの事業形態が望ましいと思いますか。（いくつでも○）

１．ファミリーサポート事業
２．子どもトワイライトステイ
３．ベビーシッター
４．その他（　　）

問 28　利用したい曜日はいつですか。（いくつでも○）

１．月曜日	２．火曜日	３．水曜日	４．木曜日
５．金曜日	６．土曜日	７．日曜日・祝日	

問 29　利用したい時間帯を、（　）内に 24 時間制でご記入ください（例：9 時 00 分～18 時 00 分）。

（　　）時（　　）分　～　（　　）時（　　）分

＜すべての方にうかがいます。＞

問 30　この１年間に、保護者の用事（冠婚葬祭、保護者・家族の病気など）により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらったことはありましたか。いずれかの番号に○をつけ、日数を（　）内にご記入ください。

	１年間に行った対処方法	日数	
１．あった	ア．（同居者を含む）親族・知人にみてもらった	（　　）泊	【問 31 へ】
	イ．子どもショートステイを利用した（児童養護施設等で一定期間、子どもを保育する事業）	（　　）泊	
	ウ．イ以外の保育事業（認可外保育施設、ベビーシッター等）を利用した	（　　）泊	
	エ．預け先が見つからず、仕方なく子どもを同行させた	（　　）泊	【問 32 へ】
	オ．預け先が見つからず、仕方なく子どもだけで留守番をさせた	（　　）泊	
	カ．その他（　　）	（　　）泊	
２．なかった			

＜問 30 で「１．あった」のうち、「ア．(同居者を含む)親族・知人にみてもらった」を選んだ方にうかがいます。＞

問 31　その場合の困難度はどの程度でしたか。（１つに○）

１．非常に困難　　２．どちらかというと困難　　３．特に困難ではない

■すべての方に、お子さんの安全、防犯対策についてうかがいます。

問 32　あなたは、通学路の安全について気になることがありますか。（いくつでも○）

１．交通事故に遭うこと　　２．不審者
３．犯罪に遭うこと　　４．その他（　　）
５．特に気になることはない

問 33　あなたは、緊急避難場所※に関して、今後何が必要だと考えますか。（いくつでも○）

※緊急避難場所：区の各地域には子どもが犯罪に巻き込まれそうになったときのかけこみ場所として、「ひまわり 110 番」、「こども 110 番」などの名称で約 4,400 か所の緊急避難場所が設置されています。区では表示図柄を統一した「ひまわり 110 番」のプレートやステッカーを配布しています。

１．設置目的、利用方法の周知　　２．設置場所を増やす
３．プレートやステッカーの見やすい掲示　　４．その他（　　）

問 34　あなたは、携帯電話やインターネット利用に関して、有害情報から子どもを守る取組として何が必要だと考えますか。（いくつでも○）

１．携帯電話、スマートフォン、インターネットの正しい利用方法の周知
２．フィルタリング付加の徹底
３．情報モラル教育講座など啓発講習会の開催
４．携帯電話、スマートフォン、インターネットによる被害についての身近な相談機関
５．その他（　　）
６．特に何も必要ない

問 35　子どもの防犯に関して、今後何が必要だと考えますか。（いくつでも○）

１．子ども防犯ハンドブックのようなものの配布を増やす
２．上記以外の防犯教育の充実
３．防犯のためのグッズや対応の仕方の周知
４．防犯パトロールの強化
５．その他（　　）

■すべての方に、家庭での生活についてうかがいます。

問 36　この１年間に、お金が足りず、家族が必要とする食料を買えないことがありましたか。（１つに○）

１．よくあった　　２．ときどきあった　　３．まれにあった　　４．まったくなかった

問 37　この１年間に、お金が足りず、家族が必要とする衣類を買えないことがありましたか。（１つに○）

１．よくあった　　２．ときどきあった　　３．まれにあった　　４．まったくなかった

問 38　この１年間に、経済的な理由で、以下の料金を支払えないことがありましたか。（それぞれ１つに○）

	あった	なかった	該当しない（払う必要がない）
（１）電話料金	1	2	3
（２）電気料金	1	2	3
（３）ガス料金	1	2	3
（４）水道料金	1	2	3
（５）家賃・住宅ローン	1	2	3
（６）NHK の受信料	1	2	3

問 39　あて名のお子さんにつぎのようなことをしていますか。（それぞれ１つに○）

	している	していない	
		したくない（方針でしない）	経済的にできない
（１）毎年新しい洋服・靴を買う	1	2	3
（２）習い事（音楽、スポーツ、習字等）に通わせる	1	2	3
（３）お誕生日のお祝いをする	1	2	3
（４）クリスマスのプレゼントや正月のお年玉をあげる	1	2	3

問 40　つぎのうち、経済的理由のためにあなたの家庭にないものはありますか。（いくつでも○）

1．子どもの年齢に合った本	2．子ども用のスポーツ用品・おもちゃ
3．洗濯機	4．炊飯器
5．掃除機	6．暖房機器
7．冷房機器	8．電子レンジ
9．電話（固定電話・携帯電話を含む）	10．インターネットにつながるパソコン
11．新聞の定期購読（インターネット含む）	12．世帯専用のおふろ
13．世帯人数分のベッドまたは布団	14．急な出費のための貯金（5 万円以上）
15．あてはまるものはない	

■すべての方に、食事・健康についてうかがいます。

問 41　あなたとあて名のお子さんの健康状態についてうかがいます。（それぞれ、最も近い番号 1 つに○）

（1）あなた（回答者）

1．よい　2．まあよい　3．ふつう　4．あまりよくない　5．よくない

（2）あて名のお子さん

1．よい　2．まあよい　3．ふつう　4．あまりよくない　5．よくない

問 42　あなたとあて名のお子さんは、平日に毎日、朝ごはんを食べますか。（1 つに○）

（1）あなた（回答者）

1．いつも食べる	2．食べるほうが多い（週に 3、4 日）
3．食べないほうが多い（週に 1、2 日）	4．いつも食べない

（2）あて名のお子さん

1．いつも食べる	2．食べるほうが多い（週に 3、4 日）
3．食べないほうが多い（週に 1、2 日）	4．いつも食べない

問 43　あて名のお子さんには、今、虫歯が何本くらいありますか。治療中のものも含み、数字でお答えください。
※虫歯がない場合は、0 本とご記入ください。治療が終わったものは数えません。

虫歯の数　：　おおよそ（　　）本

■すべての方に、地域との交流についてうかがいます。

問 44　あなたの近所とのおつきあいの程度についてお答えください。（1 つに○）

1．あいさつをする程度	2．ときどき道で話をする
3．相手の家に行って話をする	4．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあっている
5．困っているときに、相談したり助けあったりしている	
6．感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、ほとんどつきあいはない	
7．感染症（新型コロナウイルス等）の影響によらず、ほとんどつきあいはない	

問 45　あなたは、近所とのおつきあいをどの程度望んでいますか。（1 つに○）

1．あいさつをする程度	2．ときどき道で話をする
3．相手の家に行って話をする	4．食事に一緒に行ったり、家族ぐるみでつきあう
5．困っているときに、相談したり助け合う	
6．おつきあいを必要としていない	

問 46　現在は感染症（新型コロナウイルス等）の影響により、さまざまな地域行事が中止になっていますが、あなたは今後地域で行っている行事に参加したいですか。参加希望について、いずれかの番号に○をつけてください。また、「1.はい」を選んだ方は【参加したい行事】からあてはまるものすべてに○をつけてください。

1．はい

【参加したい行事】

ア．地域のお祭りや盆踊り大会	イ．スポーツ大会
ウ．文化活動（郷土芸能や音楽など）	エ．清掃活動
オ．野外活動（キャンプやハイキング）	カ．ボランティア活動
キ．その他（　　）	

2．いいえ

問 47　あなたは、子育てに関して孤立感を感じることはありますか。（1 つに○）

1．ある　2．ときどきある　3．あまりない　4．ない

■すべての方に、子育て全般についてうかがいます。

問 48　あなたは、子育てを楽しいと感じることが多いですか。（1 つに○）

1．楽しいと感じることが多い　→　**【問 49 へ】**
2．楽しいと感じることとつらいと感じることが同じくらい
3．つらいと感じることの方が多い　} **【問 50 へ】**
4．その他（　　）
5．わからない　} **【問 52 へ】**

＜問 48 で「1．楽しいと感じることが多い」を選んだ方にうかがいます。＞

問 49　子育てをする中でどのような支援・対策が有効と感じていますか。（いくつでも○）　→ **【問 52 へ】**

1．地域における子育て支援の充実	2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり	4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．妊娠・出産に対する支援	6．母親・子どもの健康に対する安心
7．子どもの教育環境	8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立	10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．養育支援の充実	12．その他（　　）

＜問 48 で「２．」または「３．」を選んだ方にうかがいます。＞

問 50 あなたは、どんなことに子育てのつらさを感じますか。（いくつでも○）

1．子どもの発達・発育に悩んだとき	2．子どもの教育・しつけに悩んだとき
3．育児協力者がいない	4．身近な相談者がいない
5．経済的理由	6．その他（　　）

問 51 つらさを解消するために必要と思うことは何ですか。（いくつでも○）

1．地域における子育て支援の充実	2．保育サービスの充実
3．子育て支援のネットワークづくり	4．地域における子どもの活動拠点の充実
5．妊娠・出産に対する支援	6．母親・子どもの健康に対する安心
7．子どもの教育環境	8．子育てしやすい住居・まちの環境面での充実
9．仕事と家庭生活の両立	10．子どもを対象にした犯罪・事故の軽減
11．養育支援の充実	12．その他（　　）

＜すべての方にうかがいます。＞

問 52 練馬区における子育ての環境や支援への満足度をお答えください。（１つに○）

満足度が低い				満足度が高い
1	2	3	4	5

問 53 あなたは、今後も練馬区で子育てを続けたいですか。（１つに○）

1．続けたい	2．できれば続けたい
3．あまり続けたくない	4．続けたくない

問 54 最後に、教育・保育環境や子育て支援施策の充実など、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

アンケートにご協力いただき、ありがとうございました。
返送用封筒に入れてご返送ください。切手を貼る必要はありません。



© ２０１１ 練馬区ねり丸